

工業部会報

第16号 令和2年1月現在：部会員数357社
●発行／鎌ヶ谷市商工会 工業部会
鎌ヶ谷市南初富 6-5-60 Tel.047-443-5565



工業部会長
高橋 章

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひ申し上げます。

新年がスタートし1か月が経過しました。会員皆様の経営は順調に進んでいることと思います。昨年は元号が令和へ変更され、新しい時代の幕分けとなりました。新鮮で希望にあふれる気持ちになると共に、価値観の多様化が働き方を左右し、自然環境の変化などが事業計画に影響するなど難しい時代の始まりを実感します。

さて、昨年の出来事を振り返ってみますと

①二度の台風による大型被害が発生しました。台風15号では強風のため、建物損壊と電柱の倒壊による長期停電が発生し、台風19号では観測史上最大の降雨量で交通遮断、物流停止、操業停止が各地で発生しました。二度の台風により中小企業でも「BCP策定」の必要性が啓蒙され始めています。

②旭化成の吉野氏がノーベル化学賞を受賞しました。島津製作所の田中氏依頼17年ぶり、二人目の国内工業界から企業研究者として受賞です。工業部会員の励みになったことと思われます。

③大阪サミット開催されるもトランプ政権の反発する「反保護主義政策」は表現されませんでした。工業製品の輸出関税は廃止されるどころか追加拡大する可能性を残し工業部会員にとっては不安材料となっています。

④働き方改革の推進。労働力確保や生産性向上、正規・非正規の処遇差解消、多様な働き方実現などを目的に関連法の改正がすすめられました。休暇5日が義務化されるも、飲食・小売り業界では人手不足は変わらず元日休業が試験的に導入されるなど苦慮している様子がうかがえます。このような先行き不透明な環境下において、工業部会の役割として会員皆様の経営のバックアップ・体力強化につながる視点で活動したいと考えております。

この一年の活動を振り返ると

①視察研修②助成金補助金セミナー③産業フェスティバルでのパネル展示・コマ大戦④定例化したビジネス交流会・東葛工業人交流会

今年度、残りわずかですが、このような工業部会の活動が多くの方々ビジネスチャンスや勉強の場になると共に、商工会・工業部会の更なる発展となるよう願っております。2020東京五輪以降の景気変動が心配ですが本年も引き続き皆様のご協力をいただき、地域工業界の発展に微力ながら努力したい次第です。

●『助成金』『補助金』セミナー開催



第1回 助成金セミナー
6/25 参加者16名



第2回 補助金セミナー
11/19 参加者14名

6月に『助成金』11月に『補助金』と、2つの国や地方自治体からの金銭的な支援政策について学びました。

講師には中小企業支援を得意とされている地元鎌ヶ谷の中小企業診断士・内田経営コンサルティングの内田聡氏にご講演いただきました。

『助成金』や『補助金』というと、耳にする機会は多いものの「自社には関係ないのでは?」とか「面倒じゃないの?」とか「難しそうでわからない」などの理由で敬遠されている方も多かったようです。

今回の2つのセミナーでは種類や概要、支援のプロからの専門的なアドバイス、補助金では実際に採択された実績のある企業の赤裸々な生の声などを伝え、参加された方に「是非来年度はチャレンジしてみよう」という意欲を持たれた方が多かったようです。

●視察研修 JAXA 筑波宇宙センター & アサヒビール茨城工場



9/11に視察研修事業として総勢25名にて茨城県のJAXA筑波宇宙センターとアサヒビール茨城工場へ行ってきました。

今回はJAXAということで、日頃あまり参加されない会員企業さんも多く参加され、昨今話題に事欠かないJAXAに対する興味関心の高さを実感しました。

次に行ったアサヒビールでは工場のオートメーション化の発展の様子や館内のシアターで製造過程などを学び、最後に試飲を楽しみました。

余談ですが、20分という制限時間内で最大3杯まで様々なビールをいただけるのですが、誰も2本までが限界でした(笑)



